

ファミリーホーム専門研修の 役割と今後の方向性 VOL.3

「ファミリーホーム研修アドバンス編」の成果報告を中心として

(二社) 日本ファミリーホーム協議会 副会長兼研修委員長

伊藤貴啓 (名古屋芸術大学 教授)

二〇一七年度にスタートした専門研修(運営・マネージメント研修)は、二〇一九年度(今年度)で三年目となりました。今年度は、

で開催しました。

日本財団の助成事業ではなく日本ファミリーホーム協議会独自の開催とし、九月十七日に東京での開催のみとしました。研修受講者は二十六名、参加ファミリーホームは二十三ホーム(延べ二十四ホーム)で、全員に研修受講修了証を発行しました。受講者一覧(資料1)及び受講後評価アンケート(資料2)を参照してください。

次の六テーマを設定し、二テーマずつ開講していきます。

今年度からは、日本財団助成事業として「ファミリーホーム研修アドバンス編」を北海道・岐阜県・福島県・鳥取県・大阪府・沖縄県

- (1) 怒りの感情のコントロール
- (2) 暴れる子どもの抑制の方法
- (3) 愛着障害・発達障害の理解と養育
- (4) 虐待から出てくる性行動について
- (5) 家庭養育と自立支援
- (6) ファミリーホームの運営管理・パートナーシップ

今年度からは、日本財団助成事業として「ファミリーホーム研修アドバンス編」を北海道・岐阜県・福島県・鳥取県・大阪府・沖縄県

今年度は「(2)暴れる子どもの抑制の方法」

今年度からは、日本財団助成事業として「ファミリーホーム研修アドバンス編」を北海道・岐阜県・福島県・鳥取県・大阪府・沖縄県

「(3)愛着障害・発達障害の理解と養育」を実施しました。

今年度からは、日本財団助成事業として「ファミリーホーム研修アドバンス編」を北海道・岐阜県・福島県・鳥取県・大阪府・沖縄県

九月三十日 北海道札幌市 受講者 二十三名

参加ファミリーホーム 八ホーム

十月二十八日 岐阜県羽島市 受講者 二十名
参加ファミリーホーム 十六ホーム

十一月二十五日 福島県郡山市 受講者 十三名
参加ファミリーホーム 八ホーム

十二月二十三日 鳥取県米子市 受講者 六名
参加ファミリーホーム 四ホーム

一月二十七日 大阪府大阪市 受講者 二十五名
参加ファミリーホーム 十七ホーム

二月二十四日 沖縄県那覇市 受講者 九名
参加ファミリーホーム 七ホーム

【合計】
受講者 九十六名(再受講者一名を含む)
参加ファミリーホーム 六十ホーム

入と提出

上記を研修委員で点検し、次回の研修に反映させる

自治体によりファミリーホーム数に大きな偏りがあり、組織的な専門の研修を自治体単位です。

受講者 九十六名(再受講者一名を含む)

参加ファミリーホーム 六十ホーム

入と提出

上記を研修委員で点検し、次回の研修に反映させる

自治体によりファミリーホーム数に大きな偏りがあり、組織的な専門の研修を自治体単位です。

受講者 九十六名(再受講者一名を含む)

参加ファミリーホーム 六十ホーム

入と提出

上記を研修委員で点検し、次回の研修に反映させる

自治体によりファミリーホーム数に大きな偏りがあり、組織的な専門の研修を自治体単位です。

受講者 九十六名(再受講者一名を含む)

参加ファミリーホーム 六十ホーム